

## 利用通知書の記入方法について

当社利用にあたって「利用通知書」に必要事項を記入の上、FAX 送信又は郵送していただきますようお願いいたします。

\* 「利用通知書」は当社ホームページからダウンロードできます。

利用通知書を当社が受領した時点で製品等に関する契約を締結したものとします。

利用通知書の提出後に当社を利用しないこととなった場合は、速やかに「契約解除・内容訂正依頼書」(様式7)を提出して下さい。

FAX 番号 0567-68-5825

- ① 「会社名」は、本工事を請負われた工事業者(元請)の会社名をご記入下さい。
- ② 「所在地」は、①に記入していただいた会社あてに当社からの「材料試験結果報告書」などの必要書類を送付する際の住所をご記入下さい。
- ③ 「現場責任者」及び「携帯番号」は本工場の現場責任者の方の氏名及び携帯電話番号をご記入下さい。
- ④ 「請求書送付先 会社名」及び「所在地」は、当社からの請求書の送付先(当社へ支払いをされる会社)の会社名、部署名及び住所をご記入下さい。  
なお、請求書送付先の会社名及び所在地が、①及び②の会社名及び所在地と同じ場合は、「同上」として下さい。  
\* 情報保護の観点から、当社からの連絡以外に使用することは一切ありません。
- ⑤ 「工事名称」は、請負われた本工場の正式名称を正確にご記入下さい。
- ⑥ 「工事箇所」は、本工事を代表する住所をできるだけ正確にご記入下さい。
- ⑦ 「発注機関名」は、発注機関の名称をできるだけ詳しくご記入下さい。  
【例】「名古屋市上下水道局 ○○管路センター 本部事務所」  
「名古屋市緑政土木局 ○○土木事務所」など
- ⑧ 「※」欄は当社で記入します。
- ⑨ 「1日あたり使用台数」は、1日の利用予定台数の内、基準となるダンプ数をご記入下さい。
- ⑩ 発注機関が公共団体以外は、「有害物質の混入の有 無」のいずれかに○印をご記入下さい。(有害物質が混入している場合は、受け入れられません。)
- ⑪ 「搬入量」及び「搬出量」は、設計図書に基づいてご記入下さい。
- ⑫ 「予定数量」は、各月の設計図書に基づく計画を、現在わかる範囲でご記入下さい。
- ⑬ 以下の場合、各発注機関発行の設計図書の内、当社への搬入量・搬出量の根拠となる数量が記載された頁の写し(コピー)を提出していただくことがあります。
  1. 搬入量が1,000 m<sup>3</sup>を超える現場
  2. 搬入量・搬出量の差が大幅に乖離している現場\* 数量が不明瞭な場合、取引を休止または停止させていただく場合もあります。

### 参考資料

#### (換算係数)

1. ぼぐしm<sup>3</sup>の割増率は、改良土(発生土)、改良路盤材(発路盤材)ともに1.2です。
2. 単位容積重量は、改良土(発生土)で1.4 t/m<sup>3</sup>、改良路盤材(発路盤材)は1.5/m<sup>3</sup>です。
3. 改良土(発生土)の締固(地山)1 m<sup>3</sup>のトン換算  
 $1 \text{ m}^3(\text{締固} \cdot \text{地山}) \times 1.2(\text{割増率}) \times 1.4(\text{単位容積重量}) = 1.68 \text{ t/m}^3$
4. 改良路盤材(発生路盤材)の締固(地山)1 m<sup>3</sup>のトン換算  
 $1 \text{ m}^3(\text{締固} \cdot \text{地山}) \times 1.2(\text{割増率}) \times 1.5(\text{単位容積重量}) = 1.80 \text{ t/m}^3$